ガス小型湯沸器
取扱説明書 保証書付

元止め式

型番
133-H910型

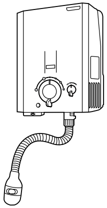
ごあいさつ
このたびは、大阪ガスのガス小型湯沸器をお買い上げいただき、ありがとうございます。
安全に使用していただくために、本機器を使用する前にこの取扱説明書をよく読み、十分に理解したうえで使用してください。

○この取扱説明書は、いつでも使用できるように大切に保管し、使用方法がわからないときにお読みください。

○この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。

○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。

○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスにお問い合わせください。



型式名	YR544



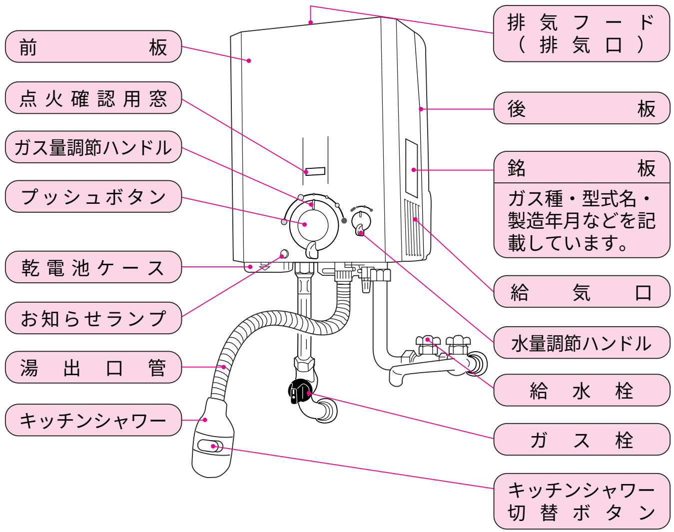
もくじ　ページ

大阪ガス

36341800

TR18

1 使用前に 各部のなまえ



特　　長

●安全装置が付いています（詳しくはP15をご覧ください。）

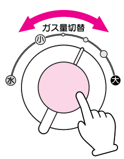
4つの安全装置がついうっかりや、「あっ！」と思ったときなどにはたらきます。

・立消え安全装置　・不完全燃焼防止装置

・過熱防止装置（温度ヒューズ）　・消し忘れ防止装置（約10分間連続使用すると、自動消火します。）

●水道栓として使えます

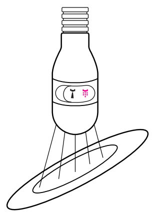
お湯・熱湯・水がすべてワンプッシュでOK！
水量調節もできます。





●お湯が飛び散りません

キッチンシャワーでお湯の飛び散りがほとんどありません。



1 使用前に とくに注意していただきたいこと

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください。

☆ここに示した注意事項と絵表示は機器を正しく安全に使用していただき、お客様や他の人々への危険や、財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

■誤った取り扱いにより生じる危害・損害の程度をつぎの四つに区分しています。

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※危険・警告・注意・お願い表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を赤の文字で表記しています。
（例：火災のおそれがあります。）

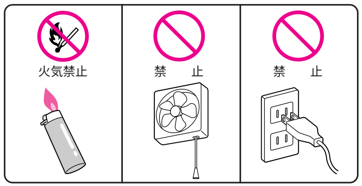
一般的な「危険」・「警告」・「注意」	一般的な禁止	接触禁止
高温注意	火気禁止	必ず守る
発火注意	分解禁止	

⚠危険

■ガス漏れ時の処置について

ガス漏れに気付いたときは、右記①〜③の処置を行う。
また、絶対に火をつけたり、電気器具（換気扇など）のスイッチの「入・切」や電源プラグの抜き差しおよび、周辺の電話を使用しない。

火や火花で引火し、爆発事故を起こすおそれがあります。

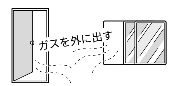


①すぐに使用をやめ、ガス栓を閉じる。



必ず守る

②ガスを外に出す。（窓や戸を開ける。）



必ず守る

③お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



必ず守る

※周辺の電話は使用しないでください。

使用前に
1 とくに注意していただきたいこと

⚠警告

●使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど換気を行う。
●閉めきった室内で使用しない。
※とくに冷暖房中は注意してください。
●換気してもなお、使用中に異常燃焼、異常音、異臭などを感じた場合や途中消火が起こったり、安全装置が作動したときはただちに使用を中止し、ガス栓を閉じ、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。

●機器の設置・移転・取りはずしおよび付帯工事は、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置する。

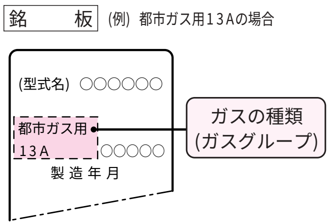
●機器の後や周辺に網戸がある場合は、直接機器に風が吹きつけない離れたほうの窓を開けて使用してください。
網戸を破損するおそれがあります。

●火をつけたまま離れたり、外出・就寝しない。
火災・一酸化炭素中毒のおそれや思わぬ事故の原因になります。

●必ず銘板（機器の右側面に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。
火災・不完全燃焼・爆発点火のおそれや機器の故障の原因になります。

●転居された場合も、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認してください。
※ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。

わからない場合やご不明な点があればお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。



必ず守る

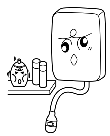
●機器にエアコンなどの風を直接あてない。
爆発点火や炎あふれの原因となり、機器の周囲に燃えやすいものがある場合、引火するおそれがあります。

機器の周囲には絶対に燃えやすいものを置かないでください。

※安全装置が作動し、消火する場合もあります。

●機器の周囲にスプレー缶を置かない。
熱でスプレー缶の圧力があがり爆発するおそれがあります。

禁　止



●引火性の危険物（ガソリン・灯油・ベンジン・接着剤など）を機器の周囲で保管したり、取り扱う室内には設置しない。
火災のおそれがあります。

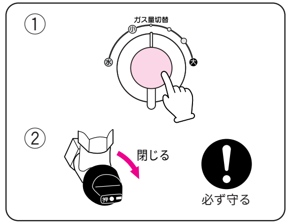
●機器を設置した後の機器周囲の改装（吊り戸棚を取り付けるなど）については、お買い求めの販売店に相談する。
火災のおそれや設置基準上問題になるおそれがあります。

⚠警告

●使用中に地震、火災などが発生した場合は次の手順に従ってあわてずすみやかに処置する。

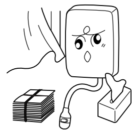
①プッシュボタンを押し、消火する。
⇩
②ガス栓を閉じる。

●再使用するときは、7ページからの『使いかた』の手順に従って操作する。わからない場合はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡する。



●機器の上や周囲に燃えやすいもの（新聞紙、ティッシュ、カーテン、ふきんなど）を近づけない。
●天井面に、薄いベニヤを貼り付けない。
火災のおそれがあります。

発火注意

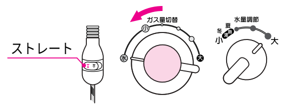


●高温や熱湯での使用中、使用直後は湯出口管周辺が熱くなっているため、操作部以外手を触れない。
やけどのおそれがあります。



●高温や熱湯で使用するときは、切替ボタンをストレートにして使用する。
●熱湯を使用された後は、水量調節ハンドルを「大」の位置ぐらいまでもどす。
※小さなお子さまのいるご家庭では、ガス量調節ハンドルを「水」の位置までもどしてください。
やけどのおそれがあります。

必ず守る

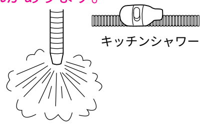


●使用中、水圧の変化でお湯の温度が変わることがあるため、お湯の温度には十分注意して使用する。
●お湯を一度止めて再使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがあるため、十分注意して使用する。
やけどのおそれがあります。

必ず守る

●キッチンシャワーをはずして使用しない。
熱湯を使用すると、お湯が周囲に飛び散りやけどのおそれがあります。

禁　止



●蒸気が激しく出るような状態では使用しない。
※水量またはガス量調節ハンドルを蒸気の出ない位置までもどして使用してください。
※熱湯使用時は、湯出口管が振れる場合がありますのでとくに注意してください。
やけどのおそれがあります。

禁　止

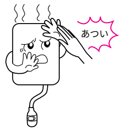


1 使用前に とくに注意していただきたいこと

⚠警告

- 使用中、使用直後は排気口や点火確認用窓周辺が高温になっているため、操作部以外は手を触れない。
  やけどのおそれがあります。

接触禁止



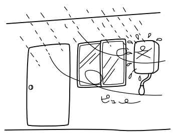
- 使用中は窓を開けたり、換気扇を回すなど必ず換気を行う。
- 閉めきった室内で使用しない。

※とくに冷暖房中は注意してください。

一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 屋内用機器のため、屋外には絶対に設置しない。
  風による火災や故障の原因になります。

禁　止

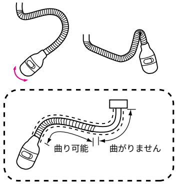


- 小さなお子さまだけで使用させない。
  やけどのおそれがあります。

⚠注意

- 無理に湯出口管を曲げたり、ねじれを加えたり、シャワーヘッドを回さない。
  キッチンシャワーの損傷や水漏れの原因になります。

禁　止



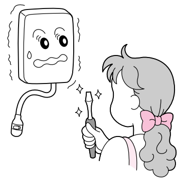
- 台所や洗面所など、機器を設置している場所でお湯を使用すること以外の用途に使用しない。
- おふろへの給湯など、長時間連続の給湯は絶対にしない。
  一酸化炭素中毒のおそれがあります。

禁　止



- 機器の分解は絶対にしない。
  やけど・けが、故障の原因になります。

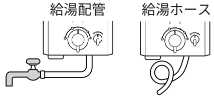
分解禁止



- 機器内に長時間たまった水や、朝一番に使用するお湯は、飲用や調理用に使用しない。

- この機器は元止め式のため、給湯配管（先止め配管）や給湯ホース接続は絶対にしない。
  やけどや機器損傷のおそれがあります。

禁　止



⚠注意

- 機器の排気口周辺に加熱されて困るもの（耐熱性の低い樹脂製品、照明器具など）を置かない。
  照明器具などが変形したり、変色したりします。

- 機器の中や機器と壁とのすき間に手や棒などをいれない。
  やけど・けが、故障の原因になります。

- お手入れは、手袋などで指先を保護し、機器が十分冷えてから行う。

お手入れ方法は、13ページの『点検・お手入れ』を参照してください。

- 凍結予防の水抜きは機器が冷めてから行う。
  高温のお湯が出て、やけどのおそれがあります。

- 機器を取り替えた場合、旧機器の処理は専門の業者に依頼をする。
  もしお客様で旧機器の処理をされる場合、乾電池を取りはずしてから正規の処理をする。

必ず守る

お願い

■乾電池の交換について

- 乾電池の ⊕⊖ の方向を間違えないでください。

機器を使用できなくなります。

- 新旧、異種の乾電池を混ぜて使用しないでください。

破裂や液漏れの原因になります。

- 乾電池は長寿命のアルカリ乾電池をおすすめします。

- 本機器は家庭用です。

業務用のような使用頻度の高い使いかたをすると著しく寿命が短くなります。
この場合の修理は有料となります。

■凍結予防と凍結時

- 外気温が低い場合は、必ず凍結予防を行ってください。

※凍結予防方法は12ページの『凍結予防のしかた』を参照してください。

- 万一、凍結したときは解凍するまで使用できません。

※解凍後は、機器や配管の水漏れがないことを確認してから使用してください。

■ガス事故防止のために

- 使用時の点火、および使用後の消火を必ず確かめてください。
- 使用中も正常に燃焼していることを確かめてください。
- 外出や就寝の際には消火を確かめ、ガス栓を必ず閉じてください。

必ず守る



■長期間使用しない場合は

- ガス栓・給水栓を閉じてください。
- 12ページの『凍結予防のしかた』に従い水抜きを行ってください。
- 各部の汚れを取り除いてください。
- 乾電池を乾電池ケースから抜いてください。

乾電池の液漏れにより、機器をいためる原因になります。

■補助具について

- この機器専用の付属品あるいは、別売品以外は使用しないでください。(乾電池は除く)
- 市販されている補助具などは使用しないでください。

思わぬ事故や故障の原因になります。

■窓を開けてお使いになるとき

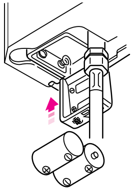
- 風通しのよい部屋で機器を使われるときは、機器に強い風があたると不完全燃焼をおこし、安全装置が作動することがあります。
  とくに窓ぎわに設置されている場合、機器に直接風をあてないよう離れたほうの窓を開けて使用してください。

使いかた

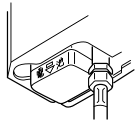
2 初めて使うとき

初めて使うときは、次の準備が必要です。
次の手順で行ってください。

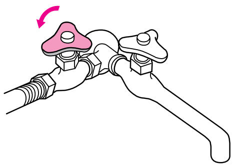
1 左下部の乾電池ケースふたを押し下げて、乾電池を取り付けます。（ふたの内側に乾電池の方向を表示しています。）



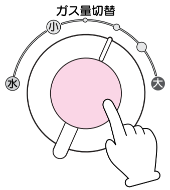
● 乾電池（単1形、1.5V、2個）を取り付け、元どおりに乾電池ケースふたを閉じます。



2 給水栓を全開にします。

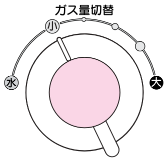


3 プッシュボタンを押し水が出ることを確認します。

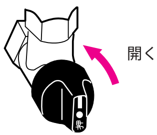


● 『パチパチ』というスパーク音が約2秒間継続します。
● 確認したらもう一度プッシュボタンを押して水を止めます。

4 ガス量調節ハンドルを「小」の位置に合わせます。



5 ガス栓を全開にします。



お願い

乾電池について

● 乾電池を入れるときは、⊕⊖の方向に注意してください。
（奥の乾電池は右側が ⊕ 手前の乾電池は左側が ⊕です。）
⊕⊖を逆にして入れると、機器を使用できません。

● 乾電池の交換は2個とも新しい同種のものにしてください。
（長寿命のアルカリ乾電池をおすすめします。）
新旧、異種の乾電池を使用すると乾電池が破裂したり、液漏れする原因となります。

● 乾電池ケースのふたは確実に閉めてください。

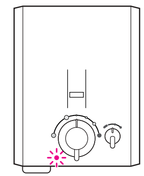
お知らせランプについて

出湯操作時にお知らせランプが点灯または点滅すれば、次の原因が考えられます。参照ページに従って処置してください。

①不完全燃焼防止装置が作動したとき（点滅）
ただちに使用を中止しガス栓を閉じ、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

②乾電池の交換が必要なとき（点灯）
P7『初めて使うとき』

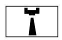
③消し忘れ防止装置が作動したとき（点灯）
P9『お湯の出しかた・止めかた』
P15『安全装置のはたらき』

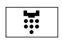


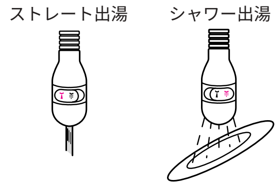
お知らせランプ

キッチンシャワーの使いかた

● 切替えボタンの

 印を押せば、ストレート出湯になります。

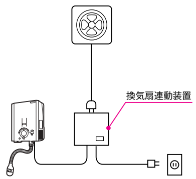
 印を押せば、シャワー出湯になります。



● お皿などを洗うときは、シャワーで使用するとお湯の飛び散りがほとんどなく便利です。

換気扇連動装置の使いかた（別売品）

換気扇連動装置を使用すると、機器の点火・消火に連動して換気扇が作動・停止し、室内を換気します。
換気扇連動装置は別売品ですので、お買い求めの販売店に相談してください。



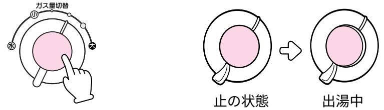
1. 換気扇連動装置の電源プラグをコンセントに差し込み、切替スイッチを「連動」側にします。
2. プッシュボタンの中央部を奥まで押します。
3. 機器と連動して換気扇が回ります。

使いかた

2 お湯の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

1 プッシュボタンの中央部を奥まで押します。

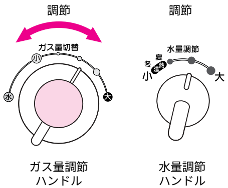


●『パチパチ』とスパーク音がして点火し、キッチンシャワーよりお湯が出ます。

●点火しにくいときは、配管内に空気が入っている場合があります。しばらく置いて再度点火操作してください。

●点火してから約10分で機器は消し忘れ防止装置が作動して自動消火します。(水は止まりません)

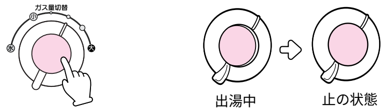
2 ガス量調節ハンドルの「小」～「大」の間でガス量を調節します。水量調節ハンドルの「小」～「大」の間で水量を調節します。



●夏期など水温が高く水量調節ハンドルを「大」側にしても、まだお湯が熱すぎるときは、ガス量調節ハンドルを「小」側にまわしてください。ガス量が少なくなり、お湯はぬるくなります。

●冬期など水温が低くて水量調節ハンドルを「小」側にしても、まだ十分お湯が熱くならないときは、ガス量調節ハンドルを「大」側にまわしてください。ガス量が多くなり、お湯は熱くなります。

3 使用後は、プッシュボタンの中央部を奥まで押します。



●キッチンシャワーよりお湯が止まります。

●使用後は必ず、点火確認用窓で消火を確かめガス栓を閉じてください。

⚠警告

やけどに注意



- ●お湯を一度止めて、再使用するときは、はじめに熱いお湯が出ることがありますので、少し待ってから使用する。
- ●蒸気が激しく出るような状態で使用しない。蒸気の出ない位置まで水量またはガス量調節ハンドルをもどす。
- ●高温・熱湯のとき、シャワー出湯はしない。
- ●使用後、小さなお子さまのいる家庭では、ガス量調節ハンドルを「水」の位置にする。

⚠注意

- ●プッシュボタンを奥まで押しても点火しないときは、再度プッシュボタンを押し消火の状態にし、しばらく(約10秒程度)待ってから再度点火操作する。

正常に点火しなかった場合、時間を置かずに再点火操作をすると、点火動作が遅れることがあります。また異常点火して大きな音がしたり、機器の故障の原因になることがあります。

お願い

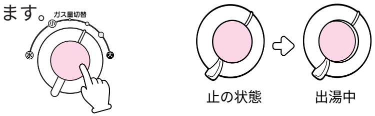
- ●ガス栓・給水栓を操作しての点火・消火は、絶対にしないでください。
- ●お湯を止めても、湯出口管の向きによっては、数秒間お湯が少量出ることがあります。こんなときは、湯出口管の先をお湯が真下に出るように下向きにすれば、少なくなります。

使いかた

2 熱湯の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

1 プッシュボタンの中央部を奥まで押します。



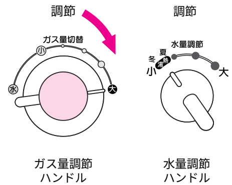
2 キッチンシャワーをストレート出湯に切り替える。

切替スイッチ ▮ を押すと



ストレート出湯

3 ガス量調節ハンドルを「大」にします。水量調節ハンドルを「熱湯」にします。



●キッチンシャワーより熱湯がでます。

4 使用後は、プッシュボタンの中央部を奥まで押します。



●キッチンシャワーよりお湯が止まります。

⚠注意

- ●使用後は水量調節ハンドルを「大」の位置にもどす。

やけどのおそれがあります。

⚠警告

やけどに注意



- ●熱湯使用中あるいは使用直後は、湯出口管が高温になっているので、手を触れない。
- ●熱湯を使用のときは、湯出口管が振れることがあるので、手を近づけているときは、熱湯がかからないよう注意する。
- ●水温が高い場合は「夏」位置、低いときは「冬」の位置に合わせてください。
- ●蒸気が激しく出るような状態で使用しない。蒸気の出ない位置までガス量調節ハンドルをもどす。
- ●キッチンシャワーをはずして使用しない。

熱湯が周囲に飛び散りやけどのおそれがあります。

- ●熱湯使用時は、キッチンシャワーを必ずストレート出湯にする。

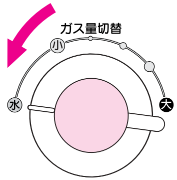
シャワーで使用するとやけどのおそれがあります。

使いかた

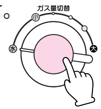
2 水の出しかた・止めかた

次の手順で行ってください。

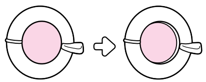
1 ガス量調節ハンドルを「水」にします。



2 プッシュボタンの中央部を奥まで押します。

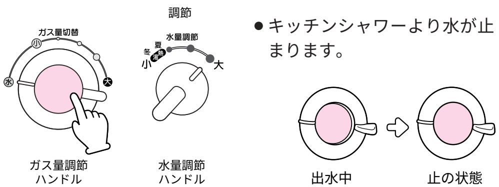


●キッチンシャワーより水が出ます。

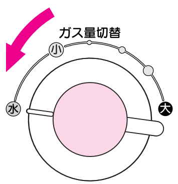


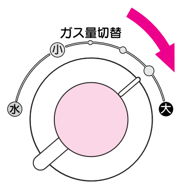
3 水量調節ハンドルの「小」～「大」で調節します。
使用後は、プッシュボタンの中央部を奥まで押します。

●キッチンシャワーより水が止まります。



お湯から水への切替	水からお湯への切替
使用中、ガス量調節ハンドルを「水」の位置に合わせると自動的に消火して水に切り替わります。	使用中、ガス量調節ハンドルを「小」～「大」の位置に合わせると自動的に点火してお湯に切り替わります。





使いかた

2 凍結予防のしかた

■冬期は、寒冷地だけでなく暖かい地方でも、急な寒波による凍結のために機器内や配管内の水が凍結し、破損することがあります。破損した場合、高額の修理費用がかかります。(有料)
■冷え込みが厳しく凍結のおそれがあるときは、次の予防措置を行ってください。

予防措置1（機器内の水を抜く方法）

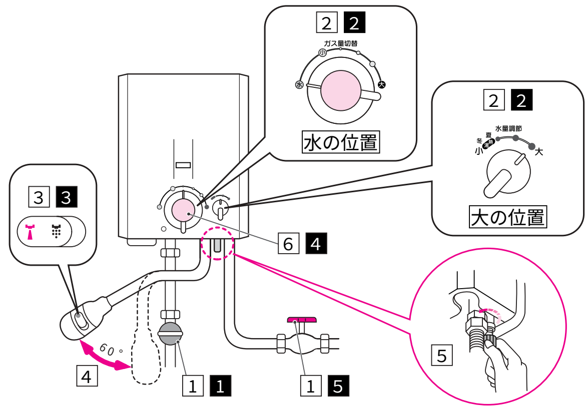
1 ガス栓・給水栓を閉じる
2 ガス量調節ハンドルを「水」位置にし、水量調節ハンドルを「大」の位置に合わせます。
3 キッチンシャワーの切替ボタンをストレートにする
4 キッチンシャワーを60 °に傾ける
5 水抜き栓をはずす（水が出ます。）
6 プッシュボタンを押す
（キッチンシャワーから水が出なくなるまで湯出口管をゆらしてください。）

再使用するときは、水抜き栓をしっかり閉じて、7ページの『初めて使うとき』に従って、使用してください。

予防措置2（水を流しっ放しにする方法）

1 ガス栓を閉じる
2 ガス量調節ハンドルを「水」位置にし、水量調節ハンドルを「大」の位置に合わせます。
3 キッチンシャワーの切替ボタンをストレートにする
4 プッシュボタンを押す
5 給水栓を少しずつ閉じる

水量が1分間に牛乳ビン1本(200cc)程度(特に寒い日は、それ以上)流れるようにしてください。
水量が不安定なことがありますので、30分後にもう一度確認してください。

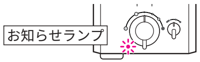


凍結したときの処置

凍結したときは、とけるのを待ってから11ページの『水の出しかた・止めかた』により①水の出ること②水漏れのないこと③作動に異常のないことを確かめてから使用してください。

点検・お手入れ

点　検

点検項目	点検のしかた	処置
乾電池は？	プッシュボタンを押しても点火せず、お知らせランプが点灯していませんか。 ※乾電池の寿命はおよそ1年がめやすです。  	お知らせランプが点灯している場合は、新しい乾電池を2個同時に交換してください。 (8ページ参照)
水フィルターの詰まりは？	お湯または水の出かたが悪くなっていませんか。	お手入れのしかたをご覧ください。
排気口部分は？	白い粉やススなどで汚れたり、使用時に不快なにおいがしていませんか。  	お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに点検・修理を依頼してください。(有料)

定期点検のおすすめ

使用上支障がない場合でも、安全により長く、使用していただくために、2～3年に1回程度の定期点検をおすすめします。(有料)
詳しくは、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

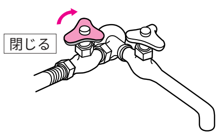
お 手 入 れ

■ガス栓を閉じ機器が冷えてから行ってください。
■けがをしないよう手袋などをして行ってください。
■お手入れが必要な所以外は絶対に分解しないでください。

お手入れ箇所	お手入れのしかた
●前板 ●後板 ●排気フード	やわらかい布に台所用中性洗剤を付けてふき取ってください。 ●金属タワシ、スポンジタワシ、ミガキ粉、シンナーなどは表面の光沢や印刷文字が消えたり、機器にキズがついたりする原因になりますので使用にならないでください。 ●後板と壁の間に指を直接入れないでください。
●水フィルター	水フィルターのそうじを行ってください。

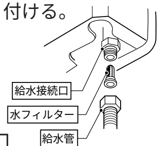
水フィルターのそうじ

1 給水栓を閉じる。

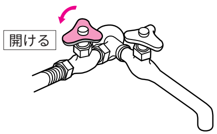


2 給水管をはずし、水フィルターを引き出し、そうじする。
(工具が必要です。)

3 水フィルターを差し込み、給水管を取り付ける。



4 給水栓を開ける。



水漏れのないことを確認してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことを確認してください。

■故障かな？と思ったらただちに使うのをやめて、まず次のことをお調べください。
■故障かな？と思ってもよく調べると故障でない場合があります。
■調べてもわからないときはただちに使うのをやめてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。

こんなとき	原因	参照ページ
ガスの臭いがする。 いやな臭いがする。	ただちに使うのをやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。 ●周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがありませんか？ ●以上、調べてもわからないときはただちに使うのをやめてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 一酸化炭素中毒のおそれがあります。	4 —
黄炎で燃える。 炎が安定しない。	●換気は十分にされていますか？ ガス量調節ハンドル『小』の位置は、炎の先端が少し黄炎になることがありますが異常ではありません。	3
異常音をたてて燃える。	●給水栓が全開になっていますか？	7
点火動作が遅れる。 点火しない。 点火しにくい。 消火する。	●ガス栓が全開になっていますか？ ●乾電池が消耗していませんか？ ●プッシュボタンを奥までいっぱいに押していますか？ ●安全装置がはたらいていませんか？調べてもわからないときはただちに使うのをやめてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 一酸化炭素中毒のおそれがあります。	7 13 9 15
使用中、火が消える。	●点火してから10分以上たっていませんか？ ●10分以上たっていないのに火が消えた場合はお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。 一酸化炭素中毒のおそれがあります。	9・15 —
お湯の出が悪い。	●給水栓が全開になっていますか？ ●給水栓接続口内部にあるフィルターのゴミ詰まりが原因と考えられます。お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに相談してください。	7 13
熱湯にすると、お湯が白くなることがある。	水には空気が含まれていて、加熱すると気泡となってあらわれるためで、異常ではありません。	—
点火してもしばらく、『パチパチ』と音がする。	点火を確実にするため手をはなしてから2～3秒『パチパチ』しつづけます。	—
高温あるいは熱湯に設定して使用すると『シャー』という音がする。	お湯がわく音で異常ではありません。	—
出湯停止後、『チリ、チリ』という音がする。	熱による膨張・収縮音で異常ではありません。	—
「プッシュボタン」を押したとき『ボッ』という音がする。	点火音で異常ではありません。	—
お知らせランプが点灯する。	出湯操作時にお知らせランプが点灯するときは、乾電池の交換が必要です。 乾電池を交換しても再使用中にお知らせランプが点滅した場合は安全装置が作動しています。 ただちに使うのをやめてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。	8 15

アフターサービス

サービスのお申し込み

- 14ページの『故障かな？と思ったら』を見てもう一度確認してください。
- 確認のうえ、それでも不都合な場合、あるいはご不明な場合は、ご自分で修理しないでお買い求めの販売店、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に連絡してください。なお、連絡されるときは、下記のことをお知らせください。

1. 品　名　ガス小型湯沸器	3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
2. 型　番　133-H910型（機器右側面に貼付の銘板をご覧ください。）	4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類をご確認のうえ、お買い求めの販売店または、転居先のガス事業者に連絡してください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
- ガスの種類によっては調整・改造できない場合もあります。

保証・補修について

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

- 保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。
  保証書を紛失されますと、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 無料修理期間経過後の修理については、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に相談してください。
- 修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。
  この製品の修理用性能部品《機能を維持するための必要な部品（交換部品を含む）》の保有期限は、製造打ち切り後6年間です。
  （保有期間経過後であっても修理用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。）

安全装置のはたらき

この機器には、次のような安全装置が付いています。

安全装置	はたらき
立消え安全装置	万一、バーナーの炎が消えたとき、この安全装置がはたらいて、自動的にガスを遮断します。
不完全燃焼防止装置	部屋の換気不足や熱交換器の詰まりにより不完全燃焼となる前に、この装置がはたらいて、自動的にガスを遮断します。〈お知らせランプ点滅〉
過熱防止装置（温度ヒューズ）	使用中、機器内の温度が異常に高くなったとき、この安全装置がはたらいて、自動的にガスを遮断します。
消し忘れ防止装置	「つい、うっかり」消し忘れた場合、約10分後に自動的に消火します。（水は止まりません。）〈お知らせランプ点灯〉

安全装置が作動したときの処置方法

①お知らせランプが点滅する場合は、安全装置が作動していますのでただちに使うのをやめてお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
②連続で約10分使用した場合は消し忘れ防止装置が作動します。
戸や窓を開けて換気し、しばらく待ってから点火・出湯操作をしてください。
一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- 以上のことをお調べになっても、なお異常のあるときやおわかりにならないときには、お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに連絡してください。
  不完全な処置や異常がある状態で使い続けますと事故のもとになります。

仕様・外形寸法図

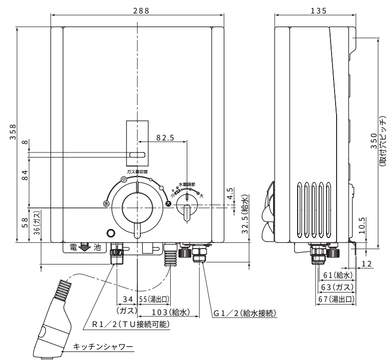
仕様

項目		仕様
品名		ガス小型湯沸器
型番		133-H910型
型式名		YR544
種類	給（出）湯方式	元止め式
	給排気方式	開放式
点火方式		連続スパーク
最低作動水圧		34.3kPa（0.35kgf/㎠）
使用水圧		49.1～687kPa（0.5～7.0kgf/㎠）
排気温度		260℃以下
外形寸法		高さ358mm×幅288mm×奥行135mm
質量（本体）		5.5kg
接続	給水	G1/2（15A）
	ガス	R1/2（TU接続可能）
安全装置		立消え安全装置・不完全燃焼防止装置・過熱防止装置・消し忘れ防止装置
付属部品		湯出口管セット・木ネジ（3本）・乾電池（単1×2本）

ガスの種類およびグループ		1時間当りのガス消費量（kW）	出湯能力L/分（ガス消費量最大時）	
		最大	25℃上昇	40℃上昇
都市ガス	13A	10.5	5.0	3.1
LPガス		10.5	5.0	3.1

- 出湯能力は給水圧力98.1kPa｛1kgf/㎠｝のとき。
- ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

外形寸法図



（単位：mm）

4 設置工事説明編（工事をされる方のために）

重 要

●この「設置工事説明編」は、誤った設置工事による事故を未然に防ぐため、工事者または人の安全に関する重大な注意事項をマークを付けて表示しています。マークの意味は次の通りです。

表 示	意 味
⚠警告	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が傷害を負う可能性や物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	使用者が安全に快適に使用していただくために理解していただきたい内容です。

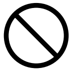
※ここでの「人」とは、使用者のみでなく、その家族・来客者・機器を譲渡された人も含みます。
※危険・警告・注意表示に於いて、守らなかった場合に起こりうる現象を下線文字で表記しています。
（例：火災のおそれがあります。）

・上記に述べる言葉の意味は、それぞれつぎのようなものをいいます。

重　　傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院、長期の通院を要するものを示します。
傷　　害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）などを示します。
物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。
　　　人：本機器の使用者を想定しています。ただし、使用者は、購入者だけでなく、その家族・来客者・購入者から機器を譲渡された人なども含みます。

・下に示す記号は、注意を促すためのものです。記号には次のような意味があります。


必　ず　守　る


一般的な禁止


発　火　注　意

⚠警告

1．設置工事は専門の資格者が行う。
●この機器の設置工事および施工にあたっては、ガス事業法、液化石油ガス法およびこの「設置工事説明編」と「ガス機器の設置基準および実務指針（日本ガス機器検査協会刊）」に従って工事を行う。

2．工事をされる方へのお願い

いつも当社製品をご利用いただき、まことにありがとうございます。この機器を正しく安全に使用していただくために、この「設置工事説明編」をよくお読みいただき、正しく工事をしてください。この「設置工事説明編」に記載されている以外の設置が原因で生じた故障および・損傷・人身事故は、工事者の責任となります。また保証期間内でも保証の対象となりませんので注意してください。

●機器の設置工事は必ずお買い求めの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼し、有資格者による正しい工事を行う。
●燃焼機器を設置する場所は、建築基準法や火災予防条例また、当該地区の市・町・村などの火災予防条例に従う。
●この機器は日本国内向けであり、海外での設置および使用はしない。
（You can use this equipment only in Japan.）
●設置工事完了後は、必ず「設置工事後の点検（チェックリスト）」に基づき確認を行う。

お願い

●この機器は一般家庭用です。業務用（飲食店など）に使用すると、機器の寿命が極端に短くなり、保証期間内でも保証の対象となりません。

1. 設置前の注意

⚠警告

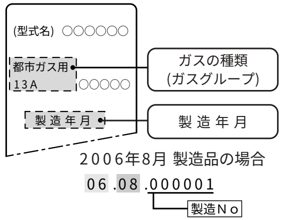
●**ガス種の確認**
機器本体右側に貼ってある銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）と、使用するガス種（ガスグループ）が適合していることを確認する。
火災・不完全燃焼・爆発点火のおそれや、機器が故障する原因にもなります。

●**用途について**
この機器は元止め式のため、給湯配管（先止め配管）や給湯ホースの接続は、絶対にしない。
やけどのおそれや機器の故障の原因になります。

この機器は屋内設置形のため、屋外には絶対設置しない。
雨水が浸入したり、炎が風にあおられて機器の故障や火災の原因となります。

銘　板　例

（例）都市ガス用13Aの場合



⚠注意

●**水圧が十分あるか確認する**
※この機器に必要な給水圧力は34.3kPa（0.35kgf/㎠）以上ですが、安全にまた快適に使用するには、49.1kPa～687kPa（0.5kgf/㎠～7kgf/㎠）の水圧が好ましい条件です。
これより水圧が低い状態で水温が高いときは高温のお湯となり、お客様がやけどをするおそれがあります。

2. 設置場所の確認 これからの内容は、安全に設置・使用していただくための重要な内容です。

⚠警告

●設置場所の換気設備について次のことを必ず守る。

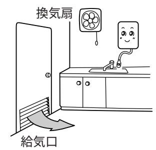
項目		確 認 事 項	説 明 図
換気設備	換気について	●必ず換気（給気・排気）が十分できるところに設置するか、給気口を設けて換気扇を取り付け、給排気が完全に行われるようにする。 ※ガス機器は完全燃焼させるために新鮮な空気（酸素）を多量に必要とします。 ※この機器は換気扇連動装置（別売部品）と接続することをおすすめします。 不完全燃焼による一酸化炭素中毒のおそれがあります。	
	換気扇の大きさ	●換気扇の風量は同時に使用される機器の合計ガス消費量1kWあたり37.2㎥/h必要です。 ※換気扇の大きさは右表を参考にしてください。	表1
	給気口の大きさ	●給気口の大きさは有効開口面積でガス消費量1kWあたり8.6㎠以上必要です。 （実情に応じて窓、ドアのすき間を給気口面積としてカウントしてもよい。） ※右表を参考にして大きさを決めてください。 ●パッキン付きのもので、施錠時にクレセントなどで締め付ける方式のものは含まない。	表2・表3

表1

換気扇の羽径（cm）	機器合計ガス消費量［kW］
15	12.1以下
20	16.1以下
25	24.2以下

表2

給気口の種類	流量係数	有効面積 91㎠以上
プラスチックガラリ・スチールガラリ	0.5	182㎠以上
木製ガラリ	0.4	228㎠以上
パンチングパネル	0.3	304㎠以上

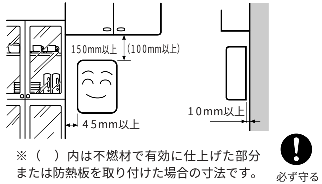
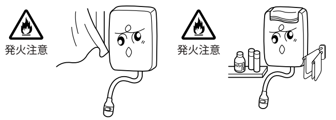
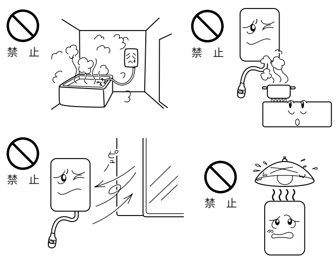
表3

ドア・窓などの種類	周囲および合わせ目1m当たりの有効開口面積
アルミサッシ窓およびドア	2㎠
鋼製ドア	10㎠
木製ドア	20㎠
木製窓	5㎠

4 設置工事説明編（工事をされる方のために）

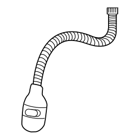
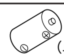
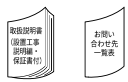
⚠注意

● 設置場所の機器本体の周囲について次のことを必ず守る。

項目		確　認　事　項	説　明　図
機器本体の周囲	防火上の離隔距離・保守点検スペース	● 機器本体の設置については、各地の条例に基づいて設置工事を行う。 ● 防火上の離隔距離として機器周辺は可燃物から側方45mm以上、後方10mm以上、また上方150mm以上離す。 ● 天井面に、薄いベニヤ・ビニールクロス・蛍光灯・棚がある場合、150mm離れても変形・変色することがあるので、防熱板で防護する。 ● 機器の周囲には、防火上の離隔距離のスペースのほかに保守点検ができるよう十分なスペースを確保する。 （保守点検スペースは、前方600mm以上、側方200mm以上としてください。） 火災のおそれや、点検修理に支障をきたします。	 ※（　）内は不燃材で有効に仕上げた部分または防熱板を取り付けた場合の寸法です。
	周囲のふんい気	● カーテンや網戸などの燃えやすいもののそばには設置しない。 ● ガソリン・ベンジン・接着剤などの引火性危険物を保管したり扱う場所には設置しない。 ● 棚の下など落下物の危険のあるところには設置しない。 火災のおそれがあります。	
		● 浴室への設置は絶対にしない。 一酸化炭素中毒のおそれや機器の故障の原因になります。 ● コンロ・レンジなどの直上など、燃焼排ガスの上昇する位置に有効な防護措置なしに設置しない。 ● 強い風のあたるところには設置しない。 不完全燃焼防止装置が作動することがあります。 ● 冷暖房装置の吹き出し口近くには設置しない。 ● 特殊薬品（パーマ液・アンモニア・イオウ・塩素・エチレン化合物・酸類など）を使用する室内に機器を設置しない。 ● 照明器具など耐熱性の低い樹脂製品の付近には設置しない。 不完全燃焼や機器の故障の原因になったり、照明器具などが変形・変色することがあります。 ● フードからの逆風、風の通り道、高温、多湿、ほこり、油ほこりの多い場所には設置しないでください。 風によりあふれから火災になったり、不完全燃焼、点火不良の原因になります。	

3. 同こん部品の確認

同こん部品は下記の部品が入っています。取り付け前に確認してください。設置には必ずこの部品を使用してください。

部品名	形状	部品名	形状	個数
湯出口管セット		乾電池	 （単1:1.5V）	2
		木ネジ	 上部用木ネジ（1本） 下部用木ネジ（2本）	3
		取扱説明書（設置工事説明編・保証書付） お問い合わせ先一覧表		各1部

4. 機器の設置とガス・給水・湯出口管接続

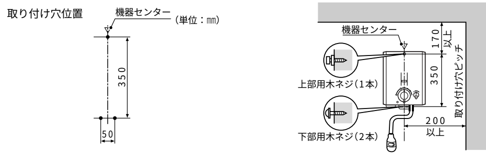
⚠注意

● 機器を設置する際に、衝撃を加えたり・落下させたりしない。
機器内部の部品が破損し、ガス漏れなどの原因になります。

● 機器を設置する壁には、約5.5kgの重量が加わりますので、十分な強度がない場合補強工事する。
設置後、機器が落下するおそれがあります。

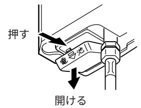
4-1. 機器の設置

● 取付壁面に十分な強度がない場合は補強工事をしてください。（機器の重量は約5.5kgです。）
● 機器の点火確認窓の位置が目の高さになるくらいの高さに取り付けると、点火・消火が確認しやすく便利です。
①天井より170mm以上、戸棚や壁などより200mm以上離した位置に上部用の木ネジ(1本)をいっぱいにねじ込んでください。
［上部用(1本)、下部用(2本)の木ネジがありますので注意してください。］
②ねじ込んだ上部用の木ネジに機器の上部穴を引っ掛けてください。
③機器をまっすぐにしてから、取付足の下部穴(2ヶ所)を下部用木ネジ(2本)でしっかりと固定してください。
※機器の側面給気口は燃焼に必要な空気の取入口ですから絶対にふさがないでください。

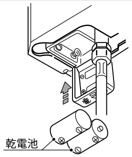


4-2. 同こん部品の取り付け（同こん部品の乾電池の取り付け）

①本体左下の乾電池ケースフタを押し下げて開けてください。

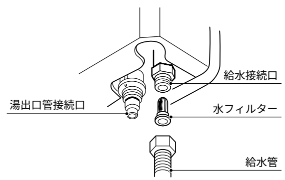


②同こんの乾電池（単1：2本）を⊕ ⊖の方向に注意して、取り付けてください。



4-3. 給水配管工事

● 給水配管工事は水道事業者の指定工事店に依頼して水道事業者の指定に従ってください。
● 配管材料は必ず関係水道局の承認あるいは検査に合格したものを使用してください。
● 接続の注意
①給水接続する前に水を通して配管内のゴミなどを流してください。
②給水接続径はG1/2（15A）です。
③水道側には給水栓または分岐水栓を必ず取り付けてください。
④水フィルターは接続パッキンを兼用していますので、他のパッキンは使用しないでください。
⑤機器の通水テストを行い水漏れのないことを確認し、給水栓を閉めて、給水管をはずし、水フィルターを取り出し清掃してください。
⑥給水管を接続する前に給水接続口に水フィルターがはめ込まれていることを必ずご確認ください。



・給水接続工事のとき、湯出口管接続口に工具を強くあてないでください。湯出口管接続口が折れることがあります。

4 設置工事説明編（工事をされる方のために）

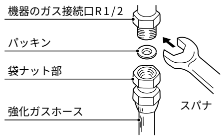
4-4. ガス配管工事

●ガス接続口はＲ1/2です。
強化ガスホース、金属管、金属可とう管で接続してください。
15A（Ｒ1/2）で配管してください。

●強化ガスホース接続
①ガス接続口の六角部にスパナをかけ、強化ガスホースの袋ナット部にパッキンをいれてください。
②ガス接続口に強化ガスホースの袋ナット部を締め付けてください。
（注）強化ガスホースの曲げ半径は90mm以上としてください。
（注）袋ナットを締め付けるとき、強化ガスホースがねじれないようにしてください。

・金属管、強化ガスホースなどを取り付けるときは、機器の破損防止のため、機器のガス接続管の六角部にスパナを差し込んで、取り付けてください。

・ガス配管工事が終わりましたら、必ずガス漏れの確認をしてください。



4-5. 湯出口管の取り付け

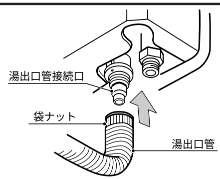
①湯出口管の湯出口管袋ナット止バネを取りはずしてください。

②機器底部の湯出口管接続口に湯出口管をしっかり差し込んでください。（図1）

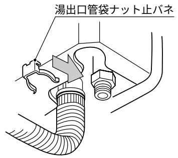
③湯出口管接続口の止めネジに湯出口管の袋ナットを回り止めの位置までしっかりとねじ込んでください。（図2）

④湯出口管袋ナット止バネを袋ナットに確実に取り付け、袋ナットが固定されているか確認してください。（図2、図3）

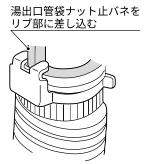
・湯出口管を取り付けた後、プッシュボタンを押し、キッチンシャワーから水が出ることを確認してください。



（図1）



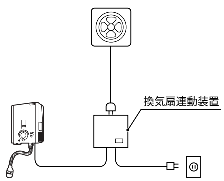
（図2）



（図3）

4-6. 換気扇連動装置（別売部品）について

●室内の換気をより確実にするために、換気扇連動装置の接続をおすすめします。
●換気扇連動装置を接続すると、機器の点火・消火に連動して、換気扇が自動的に作動・停止します。
（換気扇連動装置の切替スイッチを「連動」側にしてください。）
●換気扇連動装置は別売部品となっています。
また、換気扇連動装置と接続するときは、換気扇連動マイクロスイッチ（別売部品）が必要です。
お買い求めの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に相談してください。
●換気扇連動装置の取り付け方法は別売部品に同こんされている取付説明書を参照してください。



⚠注意

●換気連動ハーネス配線接続部は、必ず絶縁テープで保護する。
機器と地絡すると、途中消火、電池消耗の原因になります。

設置工事後の点検

設置工事が終わりましたら、試運転の前にもう一度、機器まわりの工事について点検を行い、下記チェックリストに基づき確認してください。

●チェックリスト

点検項目		点検内容	参照ページ	チェック
機器およびその周辺	ガス種	銘板表示は使用するガスに適合していますか。	18	
	可燃材料との離隔距	可燃材との離隔距離、火災予防上の処置は十分ですか。	19	
	設置条件	障害物、窓などとの離隔距離は十分ですか。	19	
	保守・管理上の空間	点検・修理に必要な空間はありますか。	19	
	安定設置	機器は安定に設置され、ガタツキ、ネジのゆるみなどはありませんか。	20	
	給排気	換気扇は取り付けられていますか。	18	
		十分給気できる場所に設置されていますか。	18	
給水配管		給水栓は取り付けられていますか	20	
		配管接続部からの水漏れはありませんか。	20	
		給水栓を開けプッシュボタンを押しキッチンシャワーから水が出ることを確認しましたか。	21	
		水フィルターにゴミなどが詰まっていませんか。	20	
ガス接続工事		接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	21	

試運転

⚠警告

●試運転を始める前に、誤配管をしていないか確認する。とくに、ガス接続口に給水管を接続していないか注意する。
※万一ガス接続口に通水した場合は機器は使用できません。機器を交換するか、修理依頼してください。そのまま使用すると、ガス漏れなどの重大事故となり危険です。

⚠注意

●試運転後長期間使用しないときや機器が凍結する恐れのあるときは、12ページ『凍結予防のしかた』に基づいて機器の水抜きを行う。

お願い

●取扱説明書に基づき、試運転を行ってください。
●通水後、給水栓を閉め給水接続口にある水フィルターを取りはずし、水フィルター部についたゴミなどを水で洗い流してください。
清掃後、水フィルターを取り付けるときは、元通りにねじ込んで取り付けてください。［20ページ参照］

お客様への取り扱い説明

⚠警告

●設置工事完了後は取扱説明書に従い、使用上の注意事項、正しい使用方法をお客様に説明する。
誤った使用をされた場合、重大な事故の原因になります。

●この取扱説明書（設置工事説明編・保証書付）を必ずお客様にお渡しください。
手渡しできないときは、ビニール袋ごと機器付近などの目につきやすい位置においてください。